弦交換の手引き



●弦の交換

弦が錆び、ざらつきを感じる場合や弦が切れた時は弦を交換しましょう。

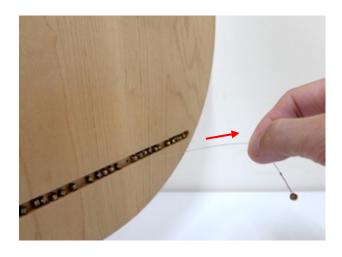
◎準備

弦を張り替える前に必要な道具を準備しておきましょう。

- 交換用の弦
- ・チューニングハンマー
- ・弦交換プレート
- ・ニッパー



1. 古い弦を取り除きます。



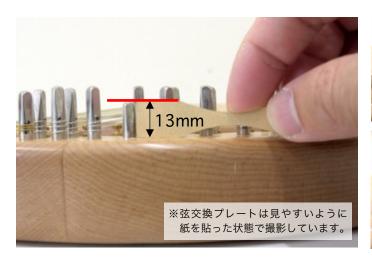


☆注意☆

・ブリッジは固定されていません。一度に複数の弦を取り除くと**ブリッジの位置が大きくず** れてしまうことがあります。弦は1本ずつ交換してください。

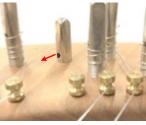
2. チューニングピンの高さを調整します。

弦を取り除いた後はチューニングピンの高さが上がったままの状態になっていることがあります。 チューニングピンの高さを調整し、弦交換プレートの横幅と同じ高さ(13mm)に揃えます。ピン を下げたい時は時計回り、上げたい時は反時計回りです。また、チューニングピンの穴はブリッジ ピンの方を向くようにしておきましょう。





チューニングピンの 穴がブリッジピンの 方に向いている。

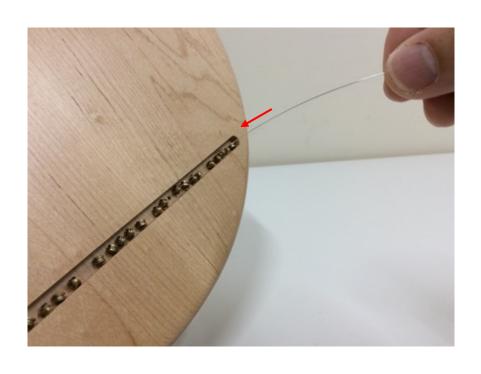


チューニングピンの 穴がブリッジピンの 方に向いていない。

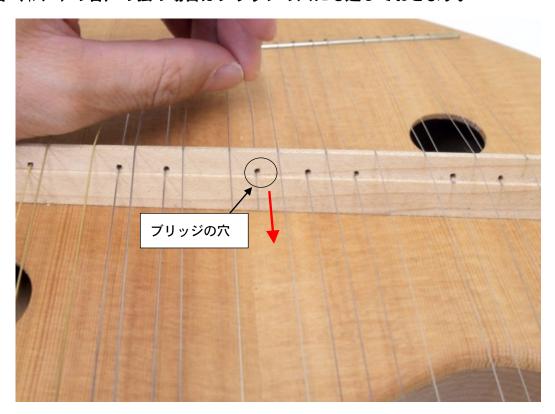
☆注意☆

・チューニングピンを押し下げ過ぎると、楽器のボディを突き抜ける場合があります。

3. 弦を楽器の裏側から通します。



4. 派生音(♯、♭の音)の弦の場合はブリッジの穴にも通しておきます。

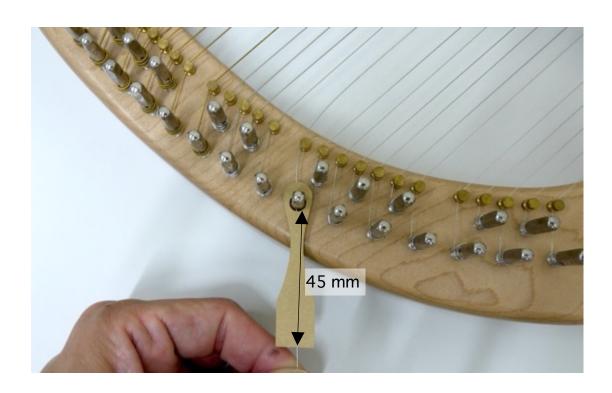


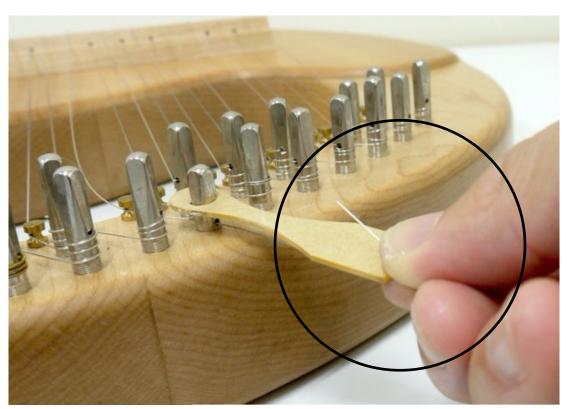
5. 弦をブリッジピンに引っ掛けてからチューニングピンの穴に弦を通します。



6. 弦を弦交換プレートの端で折り曲げます。

弦を軽く引っ張った状態で、弦を弦交換プレートの端(チューニングピンから 45mm の位置)で 折り曲げます。





※弦交換プレートは見やすいように紙を貼った状態で撮影しています。

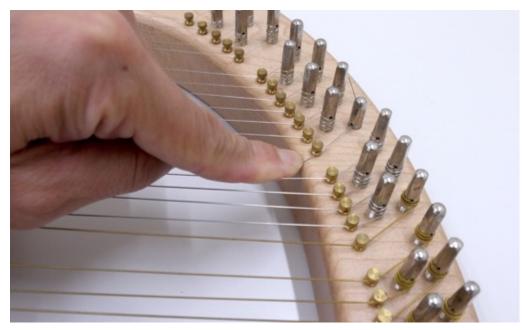
7. 折り曲げた部分をチューニングピンの穴の出口に合わせます。





8. 弦をブリッジピンのあたりで軽く押さえます。

弦を綺麗に巻きつけるために、弦を軽く押さえチューニングピン周辺の弦が緩まないようにしておきます。



9. 弦をチューニングピンに巻きつけていきます。

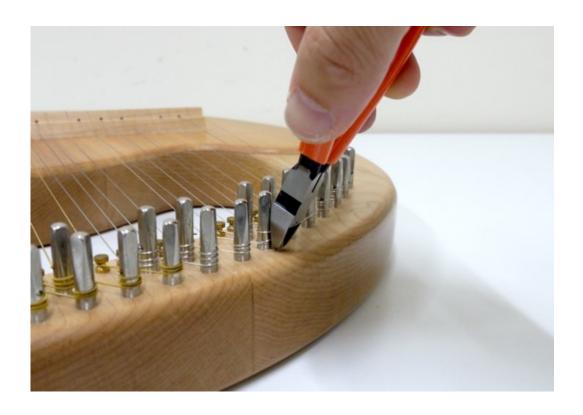
ブリッジピンの辺りで弦を軽く押さえたまま、チューニングピンを反時計回りに回し、弦を巻きつけていきます。弦を巻く時は弦がブリッジピンから外れないように気をつけましょう。なお、弦の押さえが甘く、弦に緩みのあるまま巻きつけていくと弦が綺麗に巻けない原因になります。また、弦を途中で緩めても弦が綺麗に巻けなくなってしまうので気をつけましょう。



- ※弦を切る原因になりますので、ある程度弦を巻いたら必ずチューナーを確認しながら(音を確認しながら)巻くようにしてください。
- ※弦を巻いていく時に、弦の曲がり方が甘い(弦の巻き方が甘い)と、後々弦が抜けやすくなります。弦に緩みのある状態で巻きつけていくと、弦の曲がり方が甘くなります。



10.巻き終わったら余分な弦をニッパーで切ります。



_ 弦交換の ポイント!!

チューニングピンの高さや弦の長さを正しく計ると、弦を張り終えた時のピンの高さが他と概ね同じ高さになり、見た目が綺麗に見えます。逆に計測が雑になってしまった場合は、下の写真のようにチューニングピンの高さが不揃いになります(下写真)。

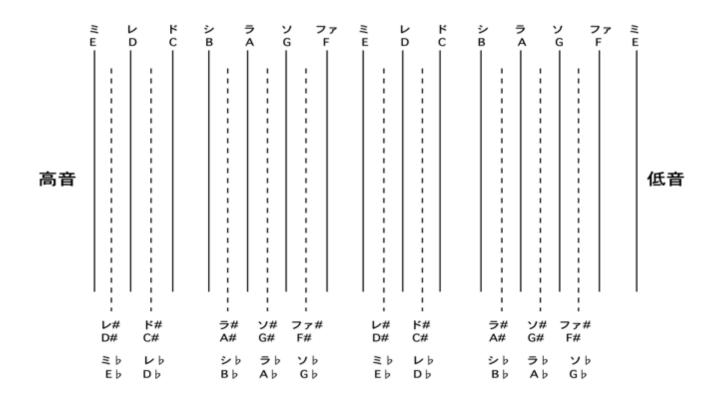


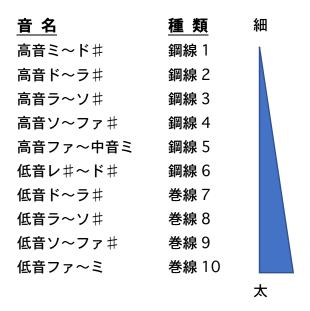
%スマートフォンなどで右の二次元コードを読み込んでいただくと、 弦交換の解説動画が再生できます。 \rightarrow \rightarrow \rightarrow \rightarrow \rightarrow \rightarrow \rightarrow



竪琴交換弦早見表

(25 弦)





弦について

弦は 10 種類あり、上記のように高音ミ〜ド‡の 4本の弦は同じ太さの弦になります。高音側の 細い鋼線から低音になるにつれて太い巻線になります。